

『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』 『ターゲットと指標』 授業での活用事例

中学校編（2022年）

総合

- P2・・・札幌市立星友館中学校 対象：全学年
校外学習事前学習（SDGs わたしたちの暮らしと課題）
- P4・・・すさみ町立周参見中学校 対象：1・3年生
ふるさと学習、ふるさとを知る
- P6・・・米沢市立第六中学校 対象：1年生
住んでいる地域の未来を考えよう
- P8・・・和歌山県田辺市立新庄中学校 対象：3年生
新庄未来学
- P9・・・糸魚川市立能生中学校 対象：1年生
新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！
SDGs・新聞記事ワークショップ
- P11・・・開智望中等教育学校 対象：1年生
奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～
- P12・・・広島市立日浦中学校 対象：1年生
SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。
- P14・・・札幌市立星友館中学校 対象：全学年
校外学習事前学習（SDGs わたしたちの暮らしと課題）

国語

- P16・・・横浜市立洋光台第二中学校 対象：2年生
地球の「未来」を考える
- P18・・・横浜市立洋光台第二中学校 対象：3年生
説得力のある構成を考えよう。

社会

- P20・・・久喜市立鷲宮中学校 対象：1年生
すべての人に健康と福祉を「アフリカ州」

特別活動

- P23・・・京都共栄学園中学校 対象：1年生
17のゴールについて考えよう

特別支援学校

道徳

- P25・・・東京都立八王子東特別支援学校 対象：3年生
SDGsについて知ろう！

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名: 札幌市立星友館中学校 名前: 芳村 ひとみ、信田麻紀子

対象	全学年	単元名	
科目	総合的な学習の時間	校外学習(定山溪ダム・さっぽろ湖)に向けての事前学習として	
時間	3時間	目標	
参考資料	アイデアブック等	その1 ダム見学を通して、その仕組みや働き、水資源の重要性を学ぶとともに、水資源を取り巻く世界の状況や課題について知り、環境に対する意識を高める。	
		その2 『SDGs』について、どんな目的でつくられたものなのかを知り、世界の様々な問題について意識を高める。	
		その3 日本や世界のプラスチックゴミに関する現状を知り、プラスチックゴミが環境にどのような影響を与えているのか理解する。	

期待できる学習効果

- ・その1 水資源の重要性と世界の水に関わる課題について知り、環境に対する意識が高まる。
- ・その2 『SDGs』とは何かを学び、世界の様々な問題についての意識が高まる
- ・その3 プラスチックゴミに関する現状を知り、日常生活について振り返ることができる。

授業内容

1時間目 事前学習1

- ・ダム見学の事前学習として水資源の重要性を学ぶ。
タブレットを活用し、ダムの役割、水資源を取り巻く世界の状況や課題を調べる。

2時間目 事前学習2

- ・動画『SDGsって何だろう?』(学生向けバージョン)視聴
- ・資料『世界保健機関・国連児童基金「Global Water Supply and Sanitation Assessment 2000 Report」』からワークシートを作成
動画を視聴しSDGsについて知る。
タブレットを活用し、ダムや世界の水に関わる課題を調べる。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

3時間目 事前学習3

- ・動画『プラスチックゴミってどこへいくの?』(約4分)横浜市制作視聴
- ・資料 プラスチックゴミ削減のための「各国の対策一覧」
動画を視聴しプラスチックゴミに関する現状を知り、環境への影響を学ぶ。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

授業内容 2

○授業内容や授業のポイント

- ・環境学習において、身近な素材や話題を提供する。
- ・難解な言葉を使わず、取り組みやすい活動とする。
- ・自分のことに目をむけることから始め、視点を身の回りの地域や日本、世界へと拡大し、自分事として課題をとらえ、行動できるようになることを最終的な目標とする。

子どもたちの反応・感想

- ・主に事前学習のためのワークシート作成や授業内容を考える際に、担当者間で活用させていただいた。
- ・関心の高い内容について、生徒の調べ学習の参考となった。
- ・今後、ひらがな版やふりがな版があればより有効に活用できると思う。

「ふるさと学習」

学校名：すさみ町立周参見中学校

名前： 小山浩生、谷口裕也

対象	第1・3学年	単元名	ふるさと学習
科目	総合的な学習の時間 特別活動	目標	その1 SDGsとは何かを知り、世界や日本の様々な課題を知る。 その2 ふるさとすさみ町について調べ学習をする。 その3 すさみ町の各分野での取組とSDGsとの関連について、 各グループごとにまとめ発表し交流する。 その4 短学活等を活用し、新聞記事を切り抜きその記事とSDGsとの関連を他生徒に発表する取り組みを行った。
時間	20時間程度		
参考資料	SDGsアイデアブック 別冊 ターゲットと指標		

期待できる学習効果

- ・その1 SDGsとは何かを知り、2030年に向けた国際社会の取り組むべき問題について知ることができる。
- ・その2 自分たちの住むすさみ町の郷土や自然、産業や取組を調べることにより、地域の良さを再認識したり、課題や問題点も認識させることができる。
- ・その3 ふるさとやSDGsについて、自分事として捉えさせることができる。また、協働してまとめ作業を行い、発表させることで、コミュニケーション能力やプレゼン能力の育成の効果も期待できる。
- ・その4 社会とSDGsとの関連を紐付けることができる。

授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

- ・その1 SDGsアイデアブック別冊ターゲットと指標を活用し、SDGsとはなにか？17の目標と、それぞれが密接に絡み合っていること、国際社会が共通して目指している目標であること、誰一人取り残さないことが大切であること。また、様々な課題があり、世界の課題から日本へ、そして、すさみ町へと徐々に目を向けさせ、自分事として取り組むことが大切であることについて学習した。
- ・その2 自分たちの住むすさみ町について夏休みを利用して調べ学習をさせた。先ず、役場職員から、良さと課題、SDGsへの取組等について講演をして頂いた。それを元に、各班ごとにテーマを決めさせ、聞き取り調査を実施した。テーマは、環境・海中ポスト・エビカニ水族館・熊野古道・祭り・ホテルの6つ。
- ・その3 それぞれの班ごとに、すさみ町の良さ、課題や改善点、SDGsのどの目標に関連しているのか、また、達成度や課題について、模造紙にまとめさせた。また、写真や要点をパワーポイントにまとめ、学習発表会でプレゼンを行った。
- ・その4 教室に1紙置くようにすることで、新聞を手にする機会を作り、同時に社会情勢にも関心を持たせることができる。まとめとして、SDGsコラムを作成させる。

「ふるさとを知る」

学校名:すさみ町立周参見中学校

名前:小山浩生、谷口裕也

授業・まとめの様子

- ①テーマごとに模造紙にまとめ体育館に展示した
- ②テーマごとに学習発表会でプレゼンを行った
- ③学級で発表後SDGs新聞として教室掲示した
- ④ペットボトルキャップを
JA婦人部へ寄贈



子どもたちの反応・感想

- ・SDGsについて学習し、世界には自分たちと同じ世代の子ともたちが抱えている多くの問題があるということについて知ることができた。そして、そこから、自分たちにどんなことができるのかを考えるために、まずは、自分たちのふるさとすさみ町について知るためにこの学習をするのだということが分かりました。
- ・すさみ町には、素晴らしい環境や資源・伝統がたくさん残されている。これらを受け継いでいつまでも守り続けたいと思います。
- ・すさみ町内でも、役場や農協いろんなところでSDGsに関連した取り組みを行っていることが分かった。僕も町民の一人として、いろいろ考えて行動していきたいと思った。
- ・新聞を読んでいると多くの記事が、SDGsと関係していることが分かった。自分たちも、もっともっといろいろなことができると思った。でも、なかなか取り組むのが難しく、大きな問題を抱えていることあるとも思った。

住んでいる地域の未来を考えよう

学校名: 米沢市立第六中学校 名前: 後藤幸恵

対象	1学年	単元名	住んでいる地域の未来を考えよう
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 ◎郷土について自ら学習し、自分で地域に対して働きかけることができる。 その2 ◎自分たちの表現力を高め、全校・地域に発信する力をつける。 その3 ◎地域の自然や歴史、文化、体験や人との交流を通じて、自分の生き方を考える。
時間	30時間		
参考資料	SDGsアイデアブック		

期待できる学習効果

- ・その1 地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決策を考えることができる。(課題設定力・問題解決力・探究力)
- ・その2 SDGsとのつながりを見つけ、広い視野で物事を考えることができる。
- ・その3 情報を整理し、発信する力をつけることができる。(プレゼンテーション力・表現力)

授業内容

- ①SDGsについて知ろう
 - ・本(SDGsアイデアブック)を読み、目標に関心を持つ。
 - ・関心のある順に並べ、理由をまとめる。(グループ)
 - ・とても関心がある中から目標の一つを選び、自分たちができる取り組みを考える。(グループ)
- ②学区の魅力を紹介しよう(プレゼンする力、表現力)
 - ・自然や歴史、文化などをスライドで紹介する。
 - ・SDGsとのつながりを見つける。
- ③地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決案などを考えよう(課題設定力、問題解決力、プレゼンする力、表現力)
 - ・地域(見学地中心)の現状と課題について知る。(市政企画課)
 - ・①自然、②歴史、③食文化、(産物)、(伝統)などについて調べる。(地域巡り)
 - ・SDGsとのつながりを見つける。(地域巡り)
 - ・発展させるための工夫や課題の解決案などを考える。(今後も持続していくためのアイデアを考える。)
 - ・スライドでまとめ、発表する。(学区の小学6年生とオンラインでつないで発表・意見交換)
- ④先進国と途上国の格差について知り、国際理解を深めよう(貿易ゲーム)(問題解決力、コミュニケーション力)
 - ・SDGs10: 人も国の不平等をなくそうに焦点を当て、貧困問題について考える。
- ⑤自然と人間の関わり合いや生物多様性について学ぼう(県立自然博物館)(観察力、実践力)
 - ・SDGs16: 陸の豊かさを守ろうに焦点を当て、自然体験学習を行う。

住んでいる地域の未来を考えよう

学校名：米沢市立第六中学校 名前：後藤幸恵

授業内容2

- ①SDGsについて知ろう
・ピラミットチャートを活用し、可視化。
- ②学区の魅力を紹介しよう
・出身小学校ごとにスライド作成。
- ③地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決案などを考えよう
・少人数グループで地域巡りを行い、地域の魅力や課題を知る。
・SDGsと関連させてスライド作成。
・学区の小学6年生とオンラインでつないで発表・意見交換。
- ④先進国と途上国の格差について知り、国際理解を深めよう(貿易ゲーム)
・貧困問題について考え、自分のこれからの生き方について考える。
・認定NPO法人「IVY」からの協力
- ⑤自然と人間の関わり合いや生物多様性について学ぼう(県立自然博物館)
・自然体験学習を行い、自然を守るためにできることについて考える。
- ⑥学習のまとめをしよう
・個人でふりかえりをする。(学びの整理・自分のこれからの生き方について考える。)



子どもたちの反応・感想

<生徒の感想より>

- ・地域巡りや貿易ゲーム、自然体験学習などを通して、SDGsとの関連や私たちにできることについて考えることができた。
- ・森の自然や資源を守っている博物館の存在を知り、改めて身近な自然の大切さがわかった。
- ・住んでいる地域が「SDGs未来都市」に選定されていて、「経済・社会・環境」のバランスを保ちながら、市民が暮らしやすいように課題を解決しながら取り組んでいることを知った。
- ・未来や現在の物事に目を向けることができた。小さなことからできることを実践していきたい。
- ・森を守り、環境破壊を防ぐためにも、ポイ捨てをしない、リサイクルをするなど、できることに取り組んでいきたい。節水・節電も意識して生活していきたい。
- ・地域の現状だけでなく、世界の現状まで目を向けることができた。不平等のない社会を目指していきたい。
- ・貿易ゲームでは、世界で起こっている途上国と先進国の格差をゲームを通して体験することができた。
- ・学区の小学生に発表したことで、地域の魅力や課題について共に考えることができた。

<生徒の様子>

身近な地域から世界まで視野を広げ、SDGsの視点で物事を見つめることができた。自分たちにできることは微力でも、価値のあることだということに気づくことができた。

新庄未来学

学校名:和歌山県田辺市立新庄中学校 名前:田淵 優

対象	第3学年	単元名	新庄未来学
科目	総合	目標	「2030年の新庄、田辺、そして日本、世界をどんな世の中にしたいか」をテーマに、中学生の視点で、現代社会の問題点、課題を探し、それを解決していくには、どんなことができるか、どんな方法があるのかを考え、実践していく。
時間	03時間		
参考資料	未来を変える目標 SDG'sアイデアブック等		

期待できる学習効果

SDGsについて学び、私たちにできる持続可能な取り組みを行うことで、SDGsを自分事として捉え、未来のために行動できる当事者となることが期待できる。また、その活動を広めていける人材を育てられる。

授業内容

1年間の取組

1学期

①「SDGs(持続可能な開発目標)とは何だろう」

西田拓大先生(白浜第二小校長:SDGs for School認定Educator)を招き、ボードゲームなどを通して、SDGsとは何かを学んだ。

②「世界の課題を、SDGsを通して見てみよう」

世界中にある課題を解決するには、SDGsのどの目標を達成するとよいか考えた。世界の課題を発表し合い、世界の現状を確認した。

2学期

③「世界の課題解決の取り組みを調べよう」

世界の課題を知り、解決のために世界がどのような動きをしているのかを調べた。臼井達也さん(NPO法人わかやま環境ネットワーク事務局長)と西田拓大先生を招き、海にまつわる取組を紹介していただきこれからの取組について考えた。

④「身近でできるSDGsの取り組みを実践しよう」

8班に分かれて、それぞれが考えたSDGsアクションを実践した。

⑤「新庄未来学 発表会」

各班で取り組んだ内容を全校で共有した。私たちにできることがたくさんあることを知った。

3学期

⑥「未来学の活動を冊子、ポスターにして地域に発信」

より多くの人にSDGsについて知ってもらいたい、行動してもらいたいという思いを込めて活動をまとめた冊子、ポスターを作成した。

子どもたちの反応・感想

まとめの冊子とポスター。

QRコードより閲覧できます。 まとめの冊子 →
(2023年12月31日迄閲覧可)



ポスター →



新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！SDGs・新聞記事ワークショップ

学校名：糸魚川市立能生中学校 名前：八木ゆかり

対象	1学年	単元名	SDGs・新聞記事ワークショップ
科目	総合	目標	SDGsの観点で記事を読み、思考を見える化する。
時間	1時間		
参考資料	・中高生SDGsジャーナル 第3号 ・ターゲットと指標		

期待できる学習効果

- ・新聞を読むことで、世の中の動きに興味関心をもつ。
- ・SDGsの観点で読むことで、問題意識を高める。
- ・SDGsふせんに考えを書いて思考を見える化することで、多様な意見を共有できる。

授業内容

※本時は、1学年(2クラス・59名)を対象に実践した。

導入(5分)

- ・活動の流れについての説明を聞く。
- ① 見出しから気になる新聞記事を選ぶ
- ② 17目標のどれに関連するか考えながら読んでみる
- ③ ふせんに「つぶやき」を書いてみる
- ④ 班長の新聞に「つぶやき」を貼りながら話し合う
- ⑤ 「つぶやき」の中から班員が1つずつ選んでSDGsふせんに書く
(できるだけSDGsの番号が重ならないように選ぶ)
- ⑥ 多目的室の新聞にSDGsふせんに貼る

全体指導(多目的室)



展開(35分)

- ・各教室に移動し、個人で次の内容を行う。
(15分)
- ① 見出しから気になる新聞記事を選ぶ
- ② 17目標のどれに関連するか考えながら読んでみる
- ③ ふせんに「つぶやき」を書いてみる

個人・グループ活動(教室)



新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！SDGs・新聞記事ワークショップ

学校名：糸魚川市立能生中学校 名前：八木ゆかり

授業内容2

- ・グループで次の内容を行う。(20分)
- ④班長の新聞に「つぶやき」を貼りながら話し合う
- ⑤「つぶやき」の中から班員が1つずつ選んで
SDGsふせんに書く
※プラスのつぶやきは黒字
※マイナスのつぶやきは赤字



まとめ(10分)

グループ活動(多目的室)

- ・グループで次の内容を行う。
- ⑥多目的室の新聞にSDGsふせんを貼る



子どもたちの反応・感想

- ・日ごろ新聞を読む機会がない生徒が多いので新聞を読むことに抵抗を示すかと心配していたが、興味深く読む生徒が多かった。
- ・新聞は全員に配布することができたため、活動後は持ち帰ることができた。「面白い」「もっとじっくり読みたい」と、しばらく朝読書で読んでいる生徒もいた。
- ・1つの記事で何枚ものSDGsふせんを貼る生徒がいた。多角的な視点で問題を捉えようとしている姿が見られた。(以下はその一例)

8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられるま ちづくりを	13 気候変動に 具体的な 対策を	11 住み続けられるま ちづくりを	7 エネルギーを みんなにそして クリーンに
容器にアルミを 挟むことで賞味 期限を延ばせて 食品ロスにつな がる	アルミは 環境に良い の？	缶の加工をしや すい機会を開発 すると缶のメリッ トが増える	これからのため に石炭の使用を 軽減していて よかった	石炭問題を解 決できていた 石炭関係の仕事 をしている人は どうなのだろう？

パッケージに隠し技あり(2019/8/3)

村で洋上で、脱炭素へ英国加速(2021/12/12)

奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～

学校名:開智望中等教育学校 名前:大森美衣南

対象	中学1年生	単元名	奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～
科目	総合	目標	その1 フィールドワークで学んだことをSDGsの観点から整理する その2 SDGsと社会のニーズを意識した上で、奉仕活動の計画を立てる その3 地域と連携して、実際に奉仕活動を行う その4 計画と照らし合わせながら奉仕活動のリフレクションを行う
時間	15時間		
参考資料	アイデアブック等		

期待できる学習効果

- ・その1:SDGsを、人ごとではなく現実問題として生徒一人ひとりが捉えることができる
- ・その2:フィールドワークで学んだことと自分の生活する地域を、SDGsをキーワードに結びつけることができる
- ・その3:自分の生活する地域にはどのような問題があるのか理解し、それに対するニーズをしっかりと確認しながら自分たちができることを実践する

授業内容

今年度、中学1年生はフィールドワーク(宿泊学習)(以後FW)として愛知に向かいました。
FWのテーマが「環境・芸術・まちづくり」であったこともあり、FWから帰ってきてから事後学習としてSDGsをキーワードに学習内容を整理、アウトプットに繋げていきました。
実際には、FWのメイン拠点となった名古屋と学校の所在している守谷市(つくばみらい市)をSDGsのそれぞれの観点から比較し、互いの良い点や改善点を洗い出すワークを行ったり、関心のある観点ごとにグループをつくって、地域で起きている問題や課題について考え、実際に地域にアポイントメントを取りながらニーズに見合った奉仕活動を行いました。

SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。

学校名: 広島市立日浦中学校 名前: 中山舞

対象	中学1年生	単元名	SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 班に分かれて、SDGsの目標について詳しく調べる。 その2 班の発表を聞いて、自分が個人的に興味をもったものについて 様々なリソースを活用し調べる。 その3 1年間SDGsに関する様々な外部講師からの話と自分たちが学んだ SDGsがどう繋がるかを考える。
時間	3時間		
参考資料	SDGsアイデアブック		

期待できる学習効果

- ・その1 一人ではなく、チームで協力して調べることで一つの目標について広く学習することができる。
- ・その2 様々な機関が発行するリーフレットやインターネットの情報などを取捨選択しながら、自分たちがほしい情報を探す力を身に着けることができる。
- ・その3 総合の時間だけでなく、横断的な学びを意識し、日常生活とSDGsは結びついていることに気づく機会を与える。

授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

・授業の流れ

【1時間目】

SDGsの目標について、各班について説明できるように、各ゴールの内容について詳しく調べる。
ゴールについて詳しく知るためにはそれぞれのゴールが掲げるターゲットが大切なので、生徒一人一人にアイデアブックを渡し、まずはターゲットの内容を一つ一つ理解することから始めた。

【2時間目】

各ゴールについて詳しく調べた内容を発表した。

【3時間目】

班の発表を聞いて、自分が興味をもった目標について詳しく調べた。

SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。

学校名: 広島市立日浦中学校 名前: 中山舞

授業内容2

【ポイント①】

今年度、本校は外部講師の方を呼び、SDGsに関する話を様々な角度から話を行っていただいた。話を聞いた後に、SDGsのどのゴールと結びつきがあるかについて話し合う機会を作るなど、非常に有意義な時間を作ることができた。

講師の方の一例

- ・電力会社で働く方々。
- ・土木関係で暮らしを支えてくださる方々。
- ・介護関係に従事している方。等

【ポイント②】

本校は、地域の方々から使用済みのアルミ缶を集めて、換金し地域に車いすを送る活動をしています。今年度は、3学年が自分たちのアルミ缶ボランティア(アルボラ)の取り組みを振り返り(成り立ちや活動状況を報告するなど)を全校に紹介しました。そのことを受け、1学年の生徒はアルボラの取り組みにどのような価値があるのか、4月に学習したことを踏まえて、SDGsの観点から考える機会を作ることができました。来年度も同様のことを1学年で行い、自分たちの日々の取り組みはSDGsの取り組みと結びついていることに気づいてほしいと思う。

子どもたちの反応・感想

一年間を通して学んだ感想。

・4月にSDGsのことについて調べ、1年間いろんな人がSDGsについて話をしてくれた。小学校の時とは違って自分で調べたことについてまとめて、発表することが大変だったけど、もっと知って、自分たちの学校が取り組んでいる活動も外の人に広めていきたいと思った。(男子生徒)

・土木現場の人たちの話を聞いて、普段自分たちの暮らしや住まいを支えている人たちがいるんだと知った。そこで働く人たちも自分たちがSDGsのために何ができるのか考えていることがわかった。(女子生徒)

・3年生がアルボラの活動がSDGsとどう繋がっているかを説明してくれた。自分たちの学校が、伝統として行っていることが、SDGsに貢献できていると思ううれしかった。(女子生徒)

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

対象	全学年	単元名	校外学習(定山溪ダム・さっぽろ湖)に向けての事前学習として
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 ダム見学を通して、その仕組みや働き、水資源の重要性を学ぶとともに、水資源を取り巻く世界の状況や課題について知り、環境に対する意識を高める。 その2 『SDGs』について、どんな目的でつくられたものなのかを知り、世界の様々な問題について意識を高める。 その3 日本や世界のプラスチックゴミに関する現状を知り、プラスチックゴミが環境にどのような影響を与えているのか理解する。
時間	3時間		
参考資料	アイデアブック等		

期待できる学習効果

- ・その1 水資源の重要性と世界の水に関わる課題について知り、環境に対する意識が高まる。
- ・その2 『SDGs』とは何かを学び、世界の様々な問題についての意識が高まる
- ・その3 プラスチックゴミに関する現状を知り、日常生活について振り返ることができる。

授業内容

1時間目 事前学習1

- ・ダム見学の事前学習として水資源の重要性を学ぶ。
タブレットを活用し、ダムの役割、水資源を取り巻く世界の状況や課題を調べる。

2時間目 事前学習2

- ・動画『SDGsって何だろう?』(学生向けバージョン)視聴
- ・資料『世界保健機関・国連児童基金「Global Water Supply and Sanitation Assessment 2000 Report」』からワークシートを作成
動画を視聴しSDGsについて知る。
タブレットを活用し、ダムや世界の水に関わる課題を調べる。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

3時間目 事前学習3

- ・動画『プラスチックゴミってどこへいくの?』(約4分)横浜市制作視聴
- ・資料 プラスチックゴミ削減のための「各国の対策一覧」
動画を視聴しプラスチックゴミに関する現状を知り、環境への影響を学ぶ。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

授業内容2

○授業内容や授業のポイント

- ・環境学習において、身近な素材や話題を提供する。
- ・難解な言葉を使わず、取り組みやすい活動とする。
- ・自分のことに目をむけることから始め、視点を身の回りの地域や日本、世界へと拡大し、自分事として課題をとらえ、行動できるようになることを最終的な目標とする。

子どもたちの反応・感想

- ・主に事前学習のためのワークシート作成や授業内容を考える際に、担当者間で活用させていただいた。
- ・関心の高い内容について、生徒の調べ学習の参考となった。
- ・今後、ひらがな版やふりがな版があればより有効に活用できると思う。

地球の「未来」を考える

横浜市立洋光台第二中学校 関口 恵

対象 2年

科目 国語

時間 4時間展開

参考資料

アイデアブック等
別紙:ブックリスト

単元名

「モアイは語る―地球の未来」 光村図書出版 国語Ⅱ

目標

- * 意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。
- * 自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。

→ 筆者の考えを踏まえて、私たちにできることを考えてまとめよう

期待できる学習効果

- ・文章を正確に読み取ることで、筆者の論理の展開の仕方を考える。
- ・論説文に書かれていることと、「世の中で起こっていること」や「解決策」を結び付けて考える。
- ・学習したことをもとに、自分自身の生活を振り返る。

授業内容

論説文の授業であったため、まずは語句の意味や筆者の考えを正確に読み取ることを目標とした。そのうえで、自分自身の考えを「もつ」ために、資料を活用し、自分の生活に結びつけて考えられるようにした。

- ①範読 段落分け 作品の構成の確認する
- ②読解 意見と根拠の関係を探る
- ③読解 筆者の考えの真意をつかむ
- ④表現 資料を参考に自分自身の考えをもつ → 書く

資料①

結論	IV	Ⅲ	Ⅱ	I	本論
				問い	
				答え	
				根拠	

序論 …… 問題提起 ()

↓ ↓ ↓

二 内容を整理し、考えと根拠を読み取ろう。

モアイは語る―地球の未来 ①

※ 意見と裏付けるための適切な根拠の在り方について理解する。
※ 自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。

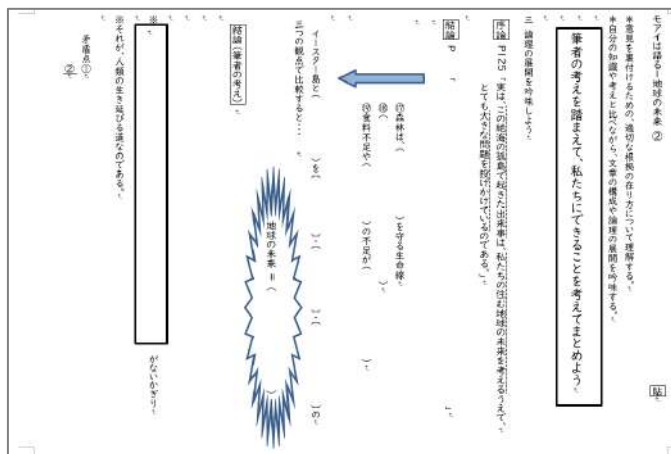
【貼】

地球の「未来」を考える

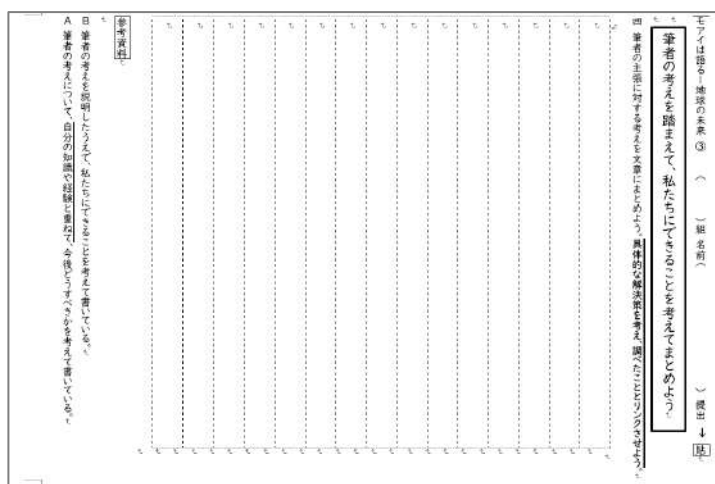
横浜市立洋光台第二中学校 関口 恵

授業内容2

資料②



資料③



子どもたちの反応・感想

教科書で学んだことが、実際の世の中とつながっているという感覚をもつことができた様子である。特に、作品の深読みをすることで、「野菜の工場栽培化」等の技術革新とつなげて考えることができた生徒もあり、資料とリンクして考えさせたことによる深まりが見て取れた。こちらの予想以上に、今の中学生は知らないことが多い。（知っていることに偏りがあるというべきか・・・。）いまメディア等では流行のような取り上げられかたをしているSDGsだが、生徒自身が自分の生活と結び付けて考える機会をより多くもてるよう指導していく必要がある。それが学校現場で気軽にできるESDなのではないかと考えている。

説得力のある構成を考えよう。

横浜市立洋光台第二中学校 下釜梨乃

対象	3年	単元名	説得力のある構成を考えよう
科目	国語	目標	①根拠となる情報の信頼性を確かめる。 ②SDGsの17の目標から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。
時間	7時間		
参考資料	アイデアブック等		

期待できる学習効果

- ①主張と根拠が正しくつながっているか確認し、信頼性のある情報を選び取ることができる。
- ②より多くの知識や多面的な視点で物事を捉えられる。

授業内容

- ・「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマに、社会生活の中からSDGsに関連した話題を選ぶ。その際、マッピングを使い、アイデアを広げ、絞り、より興味関心のあることに気づかせる。
- ・オリジナルのワークシートを用いて順を追って原稿を作成するという道筋を示した。
- ・情報収集では学校図書館を利用し、紙資料とインターネット資料の両方が使えるようにした。SDGsアイデアBookなど、一人一冊手元において利用した。
- ・情報をまとめるときには出典を明記させ、情報の信ぴょう性や妥当性があるかどうか考えさせた。
- ・自らの主張と根拠がふさわしいか考え、説得力をもたせるために複数ある根拠の中から一番ふさわしいものを選んだ。
- ・原稿作成ののち、クラス内で発表をし、他の人の考えを聞くことでより広い知識や多面的な視点をもてるようにした。

説得力のある構成を考えよう

横浜市立洋光台第二中学校 下釜梨乃

授業内容2

参考図書

「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」Think the Earth,2018
「未来を変える目標 SDGsアイデアブック別冊ターゲットと指標」Think the Earth,発行年記載なし
「SDGsスタートブック 2022年度版」Edu Town SDGsアライアンス,2022
「2030 SDGsで変える」2021年度版 朝日新聞社SDGsプロジェクト,2021
その他新聞記事、白書などを使用

子どもたちの反応・感想

- ・SDGsについて、ニュースや遠い世界の話ではなく、身近にあるものがテーマとつながっているということを理解した。
- ・調べたことをふまえて生徒自身が自分の考えを表現する際に、起きている問題や課題に向き合いさらに考えを深めることができる。

すべての人に健康と福祉を「アフリカ州」

学校名: 久喜市立鷺宮中学校 名前: 小野紗花

対象	1学年	単元名
科目	社会科	アフリカ州
時間	5時間扱い	目標
参考資料	アイデアブック等	・アフリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解させる。 ・地域でみられる地球的課題の要因や影響を多面的・多角的に考察・表現させる。 ・アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及させる。

期待できる学習効果

- ・産業と技術革新の基盤づくりが重要であることと理解する
- ・開発に向けた課題がアフリカには点在していることを理解する
- ・情報化やICT利活用がアフリカを含めた世界を変えていくことにつながることを理解する

授業内容

- アフリカ州を眺めて
 - サハラ砂漠の北と南
 - アフリカの歩み
- アフリカの産業と新たな開発
 - 産業の技術革新と基盤作り
 - 持続可能な生活と消費
- 開発に向けた課題
 - 貧困をなくす
 - 飢餓をゼロに
 - 質の高い教育をみんなに
 - 安全な水とトイレ
 - 情報化やICTの利活用
- すべての人に健康と福祉を
 - アフリカの子ども置かれた状況
 - 病気・予防・治療・感染症
 - 健康保険証と母子手帳
- まとめ SDGs目標3について、多と関連させながら「自分の考え」をまとめる

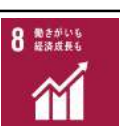
子どもたちの反応・感想

- ・日本では、子どもたちは国や自治体に守られていることが理解できた。
- ・医療が発展している国や地域が、アフリカの開発途上国に医療品や予防接種、マスクなどを提供しなければならない。
- ・感染症を予防するために、そもそもの生活環境を改善しなければならないと思ったが、何から始めていいかわからない。
- ・世界で暮らす同じ人間なのに、地理的な配置や気候の違いで、こんなにも生活に差が生まれてしまうことを知った。
- ・SDGsの考え方が、世界と比較すると、日本では理解が進んでいないと思う。

SDGs17の目標と教科・領域との関連

久喜市立鷲宮中学校

沢の私たちと家族

環 境		人 権		多文化理解
 目標6 安全な水とトイレ を世界中に 1年(社)アフリカ州 2年(理) 気象とその変化 3年(社)こ れからの人権保障 3年(社) さまざまな国際問題	 目標13 気候変動に 具体的な対策 1年(社)アジア州 2年(理)気 象とその変化 3年(国)作ら れた物語を超えて 2年(美) メッセージを伝える 3年(美) わかりやすく情報を伝える	 目標1 貧困をなくそ う 1年(社)アフリカ州 2年(英) Mother Teresa	 目標4 質の高い教育 をみんなに 1年(社)アフリカ州 3年(社) 人権と日本国憲法 2年 (英)Reading1 English for International communication 2年(総)働く人から学ぼう 全 学年(全教科・領域)すべて の単元	 目標9 産業と技術革新 の基盤づくり 1年(社)アフリカ州 2年(総) 働く人から学ぼう 3年(理)科 学技術と人間 3年(技)これ からの情報の技術
 目標7 エネルギーをみ んなに そしてクリーンに 1年(社)南アメリカ州 2年(社)世界か ら見た日本の資源・エネルギーと産 業 2年(技)エネルギー資源の利用 2 年(技)これからのエネルギー変換の 技術 3年(社)さまざまな国際問題 3年(英)Energy and the Environment 3年(理)科学技術と人間	 目標14 海の豊かさ を守ろう 2年(社)九州地方 2年(音)浜辺の歌 2 年(技)さまざまな生物育成の技術 3 年(社)これからの人権保障 3年(社)こ れからの経済と日本 3年(理)自然と 人間 3年(技)これからの生物育成の 技術	 目標2 飢餓をゼロに 1年(社)アフリカ州 2年(家) 食品の選	 目標5 ジェンダー 平等の実現 3と年保(存社)人権と共生 社会 1年(家)わたし	 目標11 住み続けられる まちづくりを 1年(総)環境から学ぼう 3年 (社)人権と共生社会 3年 (社)これからの人権保障 3 1年(と家)族住・まがい庭 とと地域域 3年(家)これ から 2年(美)地域の魅力を 伝える 3年(美)日本の世界 文化遺産 3年(美)あかりが つくる空間
 目標12 持続可能な 生活と消費 1年(社)アフリ カ州 1年(美)材料に命を吹き込む 2 年(社)九州地方 3年(社)現代社会の 特色と私たち 2年(英)The 3Rs in Germany and Japan 3年(理)科学技 術と人間 2年(家)環境に配慮した消 費生活 2年(美)メッセージを伝える	 目標15 陸の豊かさ を守ろう 1年(社)南アメリカ州 1年(技)これか らの材料と加工の技術 1年(美)文字で 楽しく伝える 2年(技)さまざまな生物 育成の技術 3年(英)Fly Away Home 3年(理)科学技術と人間 3年(技)こ れからの生物育成の技術 2年(美)メッ セージを伝える	 目標3 すべての人 に 健康と福祉 1年(社)アフリカ州 3年(社)これからの 人権保障 1年(英)Reading2 Braille 1 年(美)印象に残るシンボルマーク 2 年(総)福祉から学ぼう 全学年(体)健 康な生活と病気の予防 3年(美)わか りやすく情報を伝える	 目標8 経済成長と 人間らしい仕事 3年(社)日本の高度経済成長 3年 (社)これからの経済と日本 2年(総)働 く人から学ぼう 1年(美)印象に残るシ ンボルマーク 2年(美)地域の魅力を 伝える	 目標16 平和で公正 な 社会と行政 1年(国)大人になれなかった第たち 2 年(社)第二次世界大戦と日本 3年 (社)人権と日本国憲法 3年(社)国際 社会の仕組み 3年(英)The Diary of Anne Frank 3年(国)故郷 2年(美)メッ セージを伝える 3年(美)ゲルニカ、明 日への願い
			 目標10 人や国間の 平等 1年(社)アセアニア州 3年(社)新たな 時代と日本と世界 3年(社)人権と共 生社会 3年(社)国際社会の仕組み 2 年(総)日本の古都から学ぼう	 目標17 世界の協力 と パートナーシップ 1年(社)世界各地の人々の生活と環 境 3年(社)現代社会の特色と私たち 3年(社)これからの人権保障 3年 (英)Speech-A Man's Life in Bhutan

17のゴールについて考えよう

学校名: 京都共栄学園中学校 名前: 千葉 まなみ

対象	1年生
科目	特別活動
時間	3時間
参考資料	アイデアブック 別冊ターゲットと指標

単元名
SDGs導入
目標
その1 17のゴールを知る その2 世界の現状について自ら調べる その3

期待できる学習効果

- ・その1 身の回りにあるSDGsの取り組みについて興味をもつようになる
- ・その2 各ターゲットや指標までを確認させることで、目標の立て方や達成に向けてとるべき手段が学べる
- ・その3

授業内容

本校では、高校の総合的な探求の時間でSDGsをテーマに取り上げるため、中学部では導入だけにとどめ、その他の総合学習の際に引き合いに出せるよう、基本的な事項を確認した。

- ①SDGs 17のゴールについて、スライドを見ながら大まかに確認
- ②グループにわかれ、それぞれのゴールについて調べながら、並べ方(大切だと思う順、優先順位など)を考える
- ③理由と合わせて発表



17のゴールについて考えよう

学校名: 京都共栄学園中学校 名前: 千葉 まなみ

授業内容2



子どもたちの反応・感想

- ・この活動をして気付いたことは、1つの目標を達成したら他の目標も早く達成することができるということです。
- ・1つの目標を詳しく見ると、他の目標とも関連していることがわかりました。
- ・どの目標も大切なので順位をつけるのが難しかった。
- ・地球の未来は子供たちにかかっているなので、質の高い教育が一番大切だと思った。
- ・1つのゴールの下にはもっとたくさんの目標があったとしても細かかったので、達成するのに時間がかかりそうだと思います。
- ・ゴール17は、他の16のゴールが達成できると自然に達成されると思った。
- ・どの順序にしてもより良い結果の裏側には一人ひとりの努力があってそれが積み重なっているんだと思いました。
- ・今回、班や人によって色々な考え方があって、このような意見の違いが世界でもあるから、SDGsの課題も生まれるのかなと思った。
- ・SDGsについて調べて、私たちの「普通」は幸せなんだと気づいた。

SDGsについて知ろう！

学校名：東京都立八王子東特別支援学校 名前：遠藤 遥

対象	中学部3年	単元名	
科目	道徳的な学習の時間	海とストーリー	
時間	5時間	目標	
参考資料	SDGsすごろく、 SDGsアイデアブック、 SDGsの書籍、教科書	その1 物語を通して、人間と自然との関わりについて考えを深め、進んで自然環境を大切にしようとする実践意欲を育てる。 その2 SDGsについて知り、今の世界の状況について知る。 その3 SDGsについて知り、自分のできることは何かを考え、実践する。	

期待できる学習効果

- ・その1 SDGSについて知ることができる。
- ・その2 SDGSについて知ること、世界の現状について知ることができる。
- ・その3 いま、自分にできることは何かを考え実践することで、世界のために役に立てることを知る。

授業内容①

○「海とストーリー」の題材をもとに、自然を大切にすることはどういうことかを考えさせた。

・「紙ごみとプラスチックはいつも分別しているのにそれだけじゃだめなの？」という葉月の言葉にはどのような考えが表れているのだろうか。

・主人公は「海中に潜む「マイクロプラスチック」の脅威から海を守ろう」の広報誌を読んで、どんなことを考えたのだろうか。

以上2点について考えさせた。

②「海とストーリー」次ページの「つなげよう持続可能な開発目標SDGsについて知ろう」を読み、「SDGsってなんだろう」、「SDGs目標1～17」の等の動画を見て持続可能な開発目標SDGs目標について詳しく知ることができた。

そのあと更に理解を深めるために、SDGsすごろくで持続可能な開発目標SDGs1～17の詳しい内容をクイズ形式で答えながら楽しく学んでいくことができた。

SDGs開発目標の理解をしたあと、自分がしていること、家族がしている取り組みについてインタビューしてもらった。その中で、父の職場でも、目標15を取り入れているや母が、ごみの分別やスーパーに行くときはエコバックを持っている等を知ることができた。これからも続けていくことや、自分にもできること、心掛けていくことを決めて、実践していくことができた。

SDGsについて知ろう！

学校名：東京都立八王子東特別支援学校 名前：遠藤 遥

授業内容2

現在、学校内の皆にもSDGsを知ってもらいたいと本人から発信があった。どのようにしたら、伝えられるかを考えた結果、授業で取り組んでいる内容や実際に使用した書籍や教材を、ライブラリーに展示することで、学校内の皆に伝えられるようにした。

また、「学校内で行われているSDGsの取り組み」や「今後学校として取り組める内容等」を考えて、発信しようと考えている。



子どもたちの反応・感想

- ・SDGsという言葉は聞いたことがあるけれど、実際にはどのような内容なのか知らなかったの
で、詳しくしることができて、良かった。
- ・こんなに世界の中で大変な状況におかれている人がいることを初めて知った。
- ・毎日ご飯を食べられることができて、学校に通えていることが幸せであるということありがたい
ことだと感じた。
- ・毎日給食や家でのご飯も残さず食べているが、これからも続けていこうと思った。
- ・水の出しっぱなしをしない等自分が、少し心掛けることで世界が良くなること、世界を救えること
を知った。
- ・もっとみんなに、今の世界の状況とSDGsについて伝えたい。
- ・「SDGsは、すごろく」は楽しみながらSDGsについて
学べることができた。

